いわてアール・ブリュット　これまで、これから

年表

1907（明治40年）
1914（大正3年）
1918（大正7年）
1922（大正11年）
1923（大正12年）
1937（昭和12年）
1938（昭和13年）
1939（昭和14年）
1941（昭和16年）
1945（昭和20年）
1946（昭和21年）
1947（昭和22年）
1950（昭和25年）
1955（昭和30年）
1956（昭和31年）
1964（昭和39年）
1972（昭和47年）
1976（昭和51年）
1979（昭和54年）
1985（昭和60年）
1988（昭和63年）
1989（平成1年）
1990（平成2年）
1991（平成3年）
1992（平成4年）
1993（平成5年）
1994（平成6年）
1995（平成7年）
1996（平成8年）
1997（平成9年）
1998（平成10年）
1999（平成11年）
2001（平成13年）
2004（平成16年）
2006（平成18年）
2007（平成19年）
2008（平成20年）
2010（平成22年）
2011（平成23年）
2012（平成24年）
2014（平成26年）
2016（平成28年）
2017（平成29年）
2018（平成30年）
2021（令和3年）
2023（令和5年）

世界

- 1914 第一次世界大戦開戦
- 1918 第一次世界大戦終戦
- 1939 第二次世界大戦開戦
- 1945 第二次世界大戦終戦
- 1950 朝鮮戦争開戦
- 1955 ワルシャワ条約調印
- 1979 第2次オイルショック
- 1989 ベルリンの壁崩壊
- 1990 湾岸戦争開戦
- 1995 世界貿易機関（WHO）発足
- 2001 アムステルダム条約発効
- 2001 米9.11同時多発テロ
- 2006 国連総会で障害者権利条約採択
- 2007 スマトラ島沖地震
- 2008 北京五輪開催
- 2016 リオデジャネイロ五輪開催
- 2017 トランプ大統領就任
- 2021 新型コロナウイルス感染拡大

日本

- 1923 関東大震災
- 1937 日中戦争開戦
- 1941 太平洋戦争開戦
- 1945 太平洋戦争終戦
- 1947 日本国憲法の施行
- 1956 国際連合に加盟 冬季五輪で日本初のメダル
- 1964 東京五輪開催 東海道新幹線開通
- 1972 沖縄返還
- 1989 青函トンネル開業
- 1990 バブル崩壊
- 1993 日本初の世界遺産登録（法隆寺・姫路城・屋久島・白神山地）
- 1995 阪神淡路大震災
- 1997 消費税3%から5%へ
- 2004 新潟県中越地震 新札発行
- 2007 東京ミッドタウン開業
- 2011 東日本大震災
- 2012 東京スカイツリー開業
- 2014 日本が障害者権利条約批准
- 2016 マイナンバー運用開始
- 2017 「障害者文化芸術活動推進法」施行
- 2018 東京五輪開催
- 2022年 障害者権利条約取り組みに対し国連から是正勧告（障害者の強制入院、分離教育、施設・グループホームの閉鎖などに対し）

世界アート

- 1907 フランスの精神科医ポール・ガストン・ミュニエが精神障害のある患者の作品を紹介する著書を出版。（マルセリ・レジェ名義）
- 1922 ドイツの精神科医ハンス・プリンツホルンが精神障害のある患者の作品を紹介する著書を出版。ドイツからパリに移った画家で精神科医のマックス・エルンスト、シュルレアリスムの画家たちに影響を紹介。
- 1923 フランスの美術家ジャン・デュビュッフェが友人から同書を入手。
- 1945 デュビュッフェが「アール・ブリュット」の造語を考案。
- 1947 デュビュッフェが初人の経営する画廊の地下に「アール・ブリュット・センター」を開設。コレクションを展示。
- 1972 イギリスの美術史家ロジャー・カーディナルが「アウトサイダー・アート」の語でアール・ブリュットを評論。
- 1976 デュビュッフェが収集したアール・ブリュット作品を収蔵する美術館「アール・ブリュット・コレクション」がスイス・ローザンヌに開設。
- 1979 イギリス・ロンドンのヘイワード・ギャラリーで展覧会「アウトサイダーズ ― 前例も伝統もない芸術」をカーディナルらがキュレーション。
- 1985 アウトサイダー・アートの専門誌「Raw Vision」をジョン・マイヤルスがイギリスで創刊
- 1989 アメリカ・ロサンゼルスのカウンテシ・ミュージアムで企画展「パラレル・ヴィジョン ―20世紀美術とアウトサイダー・アート」が開催されると、スペイン、スイス、日本を巡回。
- 1993 東京の世田谷美術館でパラレル・ヴィジョン ―20世紀美術とアウトサイダー・アート」の日本巡回展が開催され、大きな話題となり、日本でアウトサイダー・アートが広く認知される転機に。また、同美術館の独自企画として同時開催された「日本のアウトサイダー・アート」にみずのき家の作品が展示される。
- 1994 スイスのアール・ブリュット・コレクションにみずのき家の作品32点が収蔵される。
- 1995 奈良県の一般財団法人たんぽぽの家に事務局を置く「日本障害者芸術文化協会」（現・NPO法人エイブル・アート・ジャパン）が、「エイブル・アート・ムーブメント7可能性の芸術運動」を提唱。
- 1996 この年から、エイブル・アート・ジャパンがトヨタ自動車と共同で「トヨタ・エイブル・アート・フォーラム」を7年間にわたり全国各地で開催。
- 1997 東京都現代美術館で展覧会「このアートで元気になる エイブル・アート'99」が開催される。
- 2001 佐木孝郎現川町にNPO法人もうひとつの美術館が、日本で最初のアール・ブリュット、アウトサイダー・アートの常設館「もうひとつの美術館」を開館。
- 2004 滋賀県社会福祉事業団が近江八幡市に「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」を開館。
- 2006 滋賀県社会福祉事業団がスイスのアール・ブリュット・コレクションとの連携事業を開始。
- 2007 高知県高知市でNPO法人ワークスみらい高知が「重エミュージアム」を開設。
- 2008 広島県福山市で社会福祉法人創樹会が「鞆の津ミュージアム」を開設。京都府亀岡市で社会福祉法人松美会が「みずのき美術館」を開設。
- 2010 福島県猪苗代町で社会福祉法人安積愛育園が「はばたきの美術館」を開設。
- 2011 フランス・パリの美術館「アル・サン・ピエール」で大規模な展覧会「アール・ブリュット・ジャポネ（日本のアール・ブリュット）」が開催される。滋賀県社会福祉事業団が協力。
- 2012 アール・ブリュット・コレクションで展覧会「ジャポン（日本）」開催。滋賀県社会福祉事業団と同コレクションの連携による企画。
- 2014 アル・サン・ピエールでの「アール・ブリュット・ジャポネ」巡回展開催。同館独自企画として「アール・ブリュット・いわて」展も同時開催。
- 2016 岩手県立美術館で「アール・ブリュット・ジャポネ」巡回展開催。同館独自企画として「アール・ブリュット・いわて」展も同時開催。
- 2017 MUKU（現・株式会社ヘラルボニー）の伝田彰宗らが、るんびにい美術館アトリエの利用者の作品をデザインに使用したネクタイを製品化。皇太子徳仁親王（当時）がるんびにい美術館を視察。
- 2018 岩手県によるいわて・アール・ブリュット巡回展」の第一回展開催。
- 2021 松田崇弥、松田双葉が株式会社ヘラルボニーを設立。花巻市によるパルンピエール美術館「パルンピエール、おらが美」花巻市文化会館で開催。
- 2023 盛岡市の岩手銀行赤レンガ館で社会福祉法人大林会が「ルンピエーアート展」開催。

日本アート

- 1923 精神障害で入院中だった東京深川の地主・渡辺金蔵による独学・独創の建築「二笑亭」を、精神科医の式場隆三郎が雑誌「中央公論」で紹介。
- 1937 早稲田大学心理学教室講師・戸川行男の主導で、千葉県市川市の知的障害児施設「八幡学園」の入所児（山下清を含む）の作品を紹介する「特異児童労作作品展」が同大大講講堂で開催される。
- 1938 岡重の反響を受け、美術雑誌のみづ丸社が主催となり新宿の画廊・青梅社で「特異児童作品展」を開催。2万人近くが来場。
- 1939 式場隆三郎が東京八重洲の丸丸で「山下清作品展」を開催。約80万人が来場。
- 1941 近江学園から派生した「落穂寮」開設。絵画教室が開始される。
- 1945 式場隆三郎が東京目黒区の知的障害児施設「みずのき寮」で、日本画家・西垣勝一の指導による絵画教室が開始。
- 1946 永賀・雄弓の軽井沢民芸や知的障害児の飲酒のため、滋賀県津市に「近江学園」を創設。同学園で陶芸の取り組みが開始される。
- 1947 京都・亀岡市の知的障害者施設「みずのき寮」で、日本画家・西垣勝一の指導による絵画教室が開始。
- 1950 式場隆三郎が東京渋谷の東横百貨店で落穂寮の作品展を開催。雑誌「美術手帳」臨時増刊号が落穂寮の作品を特集。
- 1955 1959（昭和34）年 知的障害児施設として岩手県立みたけ学園が開設される。
- 1964 1988（昭和63）年 東京原地のギャラリーサンヨーで信楽青年寮の陶作品の展覧会「しがらきからゆいてくる風」が田島の企画により開催される。
- 1972 滋賀県信楽町の知的障害者施設「信楽青年寮」の利用者らと、絵本作家の田島征三の交流が始まる。
- 1976 兵庫県西宮市の知的障害者施設「すずかけ作業所」で、絵本作家のほたよしこが主宰する「絵画クラブ」が開始。
- 1979 奈良県生駒市の知的障害者施設「みずのき作業所」で、日本画家・西垣勝一の指導による絵画教室が開始。
- 1985 花巻市の社会福祉法人光林会の障害児施設「ルンピエーア学園」で、三井信義の企画により海百合展が開催。このあから花巻温泉のギャラリー夏」で定期的な作品展を継続開催。
- 1988 美術家の橋場ゆかが福岡市で、知的障害児・者との家族を対象に「母子造形教室」でもむしを開設。以後現内各地で同様の教室を開設。
- 1989 盛岡市で「第1回でもむし展」開催
- 1990 1992（平成4）年「第1回岩手県障がい者文化芸術祭」開催。
- 1991 機場が一戸町の三愛学舎養護学校の美術講師となる。
- 1993 1995（平成7）～1996（平成8）年 盛岡市の第一重百ギャラリーで、ヨーロッパの障害児作品と滋賀県の信楽青年寮の陶作品による展覧会が開催される。
- 1994 1996（平成8）～1997（平成9）年 岩手県障害者芸術文化協会（現・いわて・きららアート協会）発足。機場が初代会長となる。
- 1995 盛岡市の現代美術画廊「和園子＋ｉｋｕ」で、ルンピエーア周の利用者三人（玉山公・八重樫李良・八重樫秀則）の展覧会を開催。「トヨタ・エイブル・アート・フォーラム」が盛岡市で開催され、シンポジウムや創作支援の研修ワークショップがおこなわれる。
- 1996 盛岡市の岩手県民会館で「きらら・キャ展ー いわて・きららアート・コレクションキャ年の軌跡」開催。社会福祉法人光林会が花巻市に「るんびにい美術館」を開設。
- 1997 いわて・きらら アート協会が盛岡市で「第一回ーいわて・きららアート・コレクション」を開催。はたよしこが審査員。社会福祉法人光林会の障害者施設「ルンピエーア苑」で美術家の長坂崇志が利用者の美術活動の支援を開始。
- 2004 アル・サン・ピエールでの「アール・ブリュット・ジャポネ」巡回展開催。同館独自企画として「アール・ブリュット・いわて」展も同時開催。
- 2006 岩手県立美術館で「きらら・キャ展ー いわて・きららアート・コレクションキャ年の軌跡」開催。社会福祉法人光林会が花巻市に「るんびにい美術館」を開設。
- 2007 MUKU（現・株式会社ヘラルボニー）の伝田彰宗らが、るんびにい美術館アトリエの利用者の作品をデザインに使用したネクタイを製品化。皇太子徳仁親王（当時）がるんびにい美術館を視察。
- 2008 岩手県によるいわて・アール・ブリュット巡回展」の第一回展開催。
- 2010 松田崇弥、松田双葉が株式会社ヘラルボニーを設立。花巻市によるパルンピエール美術館「パルンピエール、おらが美」花巻市文化会館で開催。
- 2011 盛岡市の岩手銀行赤レンガ館で社会福祉法人大林会が「ルンピエーアート展」開催。

岩手県・岩手アート

- 1923 1931（昭和6）年 盛岡市仁王海常高等小学校に知的障害児学級が開設される。
- 1937 1937（昭和12）年 岩手県立盲聾唖学校にベレン・ケラー来訪。
- 1950 1950（昭和25）年 盛岡市仁王小学校に戦後最初の知的障害児学級が開設される。
- 1959 1959（昭和34）年 知的障害児施設として岩手県立みたけ学園が開設される。

【参考資料】
・『新潟ビエンナーレ・アート 現代美術が生まれた「芸術」は何文化か』
・『岩手県障害児教育研究会・編』岩手の障害児教育史（岩手県障害児教育研究会）
・『戦後の中・地上モノ小さの子 展』（国立新美術館巡回展冊子）
・山田芳美「滋賀県における障害のある人の造形活動の歴史とその広がり」（滋賀県社会福祉事業団）
・『いわて・きらら アート・コレクション 10周年作品集（いわて・きらら アート協会）』
・『るんびにい（るんぴにアーティストたち）』（令和年刊）